

高岡伝産デザインマッチング

400年以上続く伝統産業の街、富山県高岡市の若手職人集団「伝産」と一緒にものづくりをしませんか？今年初開催の高岡伝産デザインマッチングは、高岡の伝統産業の新たな可能性を探るプロジェクトです。過去の実績や経験にとらわれることなく、職人の技術に共感してあなたらしい表現ができる人を広く募集します。

あなたのデザインと高岡の技術で出来上がった作品は当青年会主催の展覧会で展示いたします。

事業の流れ	<p>①デザイナー（一般、プロ、学生等）がデザインを応募</p> <p>②当青年会所属の銅器・漆器企業がマッチング会でデザインをセレクト</p> <p>③デザイナーと企業が協力して試作</p> <p>④2022年2月（予定）に高岡市内で開催する当青年会主催の展覧会で展示</p> <p>（制作した作品は「工芸都市高岡クラフトコンペティション 2022」への出品を推奨します。）</p> <p>参考：工芸都市高岡クラフトコンペティション 2021 (http://www.ccis-toyama.or.jp/takaoka/craft/)</p>
応募締切	2021年9月30日（木）消印有効
結果通知	2021年10月初旬
条件	<ul style="list-style-type: none">・高岡の伝統産業の素材・技術（銅器（銅合金・錫・鉄铸件）、漆器（蒔絵、螺鈿）など）を活かした製品のデザインであること。・マッチング成立の場合、上記の展覧会に参加できること。・複数点応募も可能ですが未発表のデザインに限ります。
素材	銅器（銅合金、錫、鉄、アルミなど、金属の鋳造・加工技術を活用したデザイン） 漆器（蒔絵、螺鈿など漆器の技術を活用したデザイン） 異素材との組み合わせ可
応募	無料
対象者	デザイナー、クリエイター、学生 など（個人・企業・グループを問いません）
応募方法	応募用紙とデザイン画をセットで、メールまたは郵送でご応募ください。 複数点応募も可。 ①応募用紙：必要事項を記入し、デザイン画とセットで送付下さい。 ②デザイン画：A4サイズ（1枚）で、具体的なデザイン・素材・制作方法などが分かる 図面やスケッチと説明文を記したもの。 ③ポートフォリオ（任意） ※メールで応募する際、添付ファイルのサイズが大きい場合はファイル便などをご利用ください。

応募先	<p><u>メールの場合</u></p> <p>info@hannya-chuzo.com</p> <p><u>郵送の場合</u></p> <p>〒933-8567 富山県高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル4F 高岡伝統産業青年会 事務局</p>
選定	<p>当青年会所属の企業が、あなたのデザインを選びます。 企業は、デザインはもちろん、製造方法や量産化も考慮し選考します。 マッチングは5チーム程度を想定しています。</p>
諸権利	<p>応募作品の著作権、工業所有権等に関する権利は応募者に帰属します。 商品化に至った場合は、製作企業と応募者の双方で、ロイヤリティー契約や製造、販売等の諸権利について協議下さい。</p>
補助	<p>宿泊・交通費補助</p> <p>高岡に来る際の宿泊・交通費の実費経費を補助します。 ※本企画期間を通して1チーム上限10万円</p>
その他	<p>新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては企画の中止や内容を一部変更させていただきます場合があります。</p>
お問合せ	<p>高岡伝統産業青年会 担当：般若</p> <p>info@hannya-chuzo.com</p>

高岡伝産デザインマッチング 応募用紙 (1 / 3)

作品名	
用途	
素材・技術・ コンセプト	

高岡伝産デザインマッチング 応募用紙 (2 / 3)

フリガナ			
応募者氏名 <small>(グループの場合代表者)</small>			
生年月日	西暦	年	月 日
	区分	一般・学生	
住所	〒		
日中連絡のとれる 電話番号	—	—	
メール	@		
会社名または学校名			
住所 <small>(会社または学校)</small>	〒		
	TEL		
職種・専攻 または あなたの得意分野			

高岡伝産デザインマッチング 応募用紙 (3 / 3)

自由記述欄 (経歴・自己PR など)

METAL WORK __ 鑄物技術いろいろ



高岡伝統産業青年会

400年続く高岡の鑄物産業は、製造工程を分業制にしたことでそれぞれの技術が専門的に発展しました。

鑄物(いもの)の商品が完成するまでには、原型・鑄込み・仕上げ・研磨・着色・彫金など様々な工程を通る必要があります。高岡ではそのすべての工程にそれぞれ専門の工房があり、古くよりそれぞれの技術に特化した職人が技術を磨いてきました。現在ではそれらの職人が独自の技術に特化した様々な商品の制作や建築業界への進出など、活躍を見せています。



高温で溶け出す、鑄造の様子



一点モノの、様々な色彩を生み出す伝統的な金属の古代着色



技術開発から間も無く100年。塗装の技術も独自の発展を遂げています



古くは武具や美術品から始まった、緻密な彫金技術



仕上げ加工次第で、最終の仕上がりが全く変わります



鏡面仕上げにする、研磨職人の工房

JAPANESE LACQUER __ 漆芸技術いろいろ



高岡伝統産業青年会

高岡の漆器産業は、地域の伝統行事や祭礼と深くかかわり合い
今日まで多くの技術技法が確立されました。

高岡は鑄物の産地であると同時に、漆器産業も盛んです。鮑貝の内側を使用した加飾技術である螺鈿細工は、ミリ単位の細やかな回を散りばめて、様々な文様を施します。一点一点手作業で描かれる蒔絵や金箔の装飾も、優雅で華やかな作品を作り上げることができます。



螺鈿細工に使用する道具



一つ一つ手描きで表現する蒔絵



アワビ貝、アコウ貝などの内側をおよそ0.1ミリまで薄く削り落とし、使用します



飾り盆だけではなく、香合やアクセサリーにも



代々受け継がれる螺鈿の技術は、高岡を代表する漆芸技法です



金箔の作業現場

SAMPLE _ 作品実績いろいろ

高岡伝統産業青年会の職人たちによる
技術に特化した作品・商品サンプル。



金属の古代着色技術を利用した小皿



蒔絵によるブローチ



二つの異なる金属を同時に型に流し込む「吹き分け」技術を使ったプレート



卵の殻を使った漆芸技法



繊細な彫金技法によるコースター



螺鈿による菓子箱・手鏡